

産業能率大学 情報マネジメント学部

中国語B(発音・会話)	履修年次	1	
	単 位	1	
周 偉嘉	配当期	後	
	授業方法	演習※ / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業の構成は本文、中国語によるプレゼン、応用練習からなる。また、中国の日常生活に関する会話文に触れ、中国語に対する興味・関心を高める。学修内容は、中国語の文法、基本語彙、会話力を身につけ、基本的な会話を楽しめるように演習を行う。一方、将来ビジネスの場面で中国語が使えたら、ビジネスの手助けにもなるため、会話・中国語によるプレゼンに加え、パソコン中国語の運用力を向上させる練習も行う。また、歌などを通じて生き生きとした場面から勉強する機会もある。そして、各ユニットの終わりには映像資料を通じて中国の文化、生活習慣などに関する知識を深める。本科目を通じて中国語の基礎を学習し中国語に楽しく触れながら、異文化コミュニケーションの能力を大いに高めていただきたい。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・中国語の演習を進めながら中国語会話の基本構成を理解すると同時に、応用することができるようになる。 ・中国語の基礎的な文法を身につけ、習った慣用表現(句型)を活用することができるようになる。 ・中国語のアクセントとイントネーションを正確に体得し、きれいに発音でき、簡単な会話ができるようになる。 			
成績評価の方法			
この科目はディプロマポリシーと科目の到達目標に対応して、出席、課題提出、授業外学習、授業の取り組み(PBLとアクティブラーニング)、授業外に課すレポートテストなどで評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	導入: 科目ガイダンス中国語の学び方の確認	8	所有動詞を述語とする所有文について学ぶ
2	指示語と指示文の説明と演習	9	所有文、動量詞文、補充語文の演習
3	指示語の比較練習と数量詞文の演習	10	存在動詞を述語とする存在文について学ぶ
4	形容詞を述語とする形容詞述語文を学ぶ	11	「在」と「有」の構文や方位詞の演習を行う
5	「主述語」文と比較文を中心に演習を行う	12	中国の文化を理解する
6	一般動詞を述語とする動詞述語文を学ぶ	13	中国における人々の生活について理解する
7	自動詞と他動詞文・動名詞文の演習	14	総復習と理解度の確認